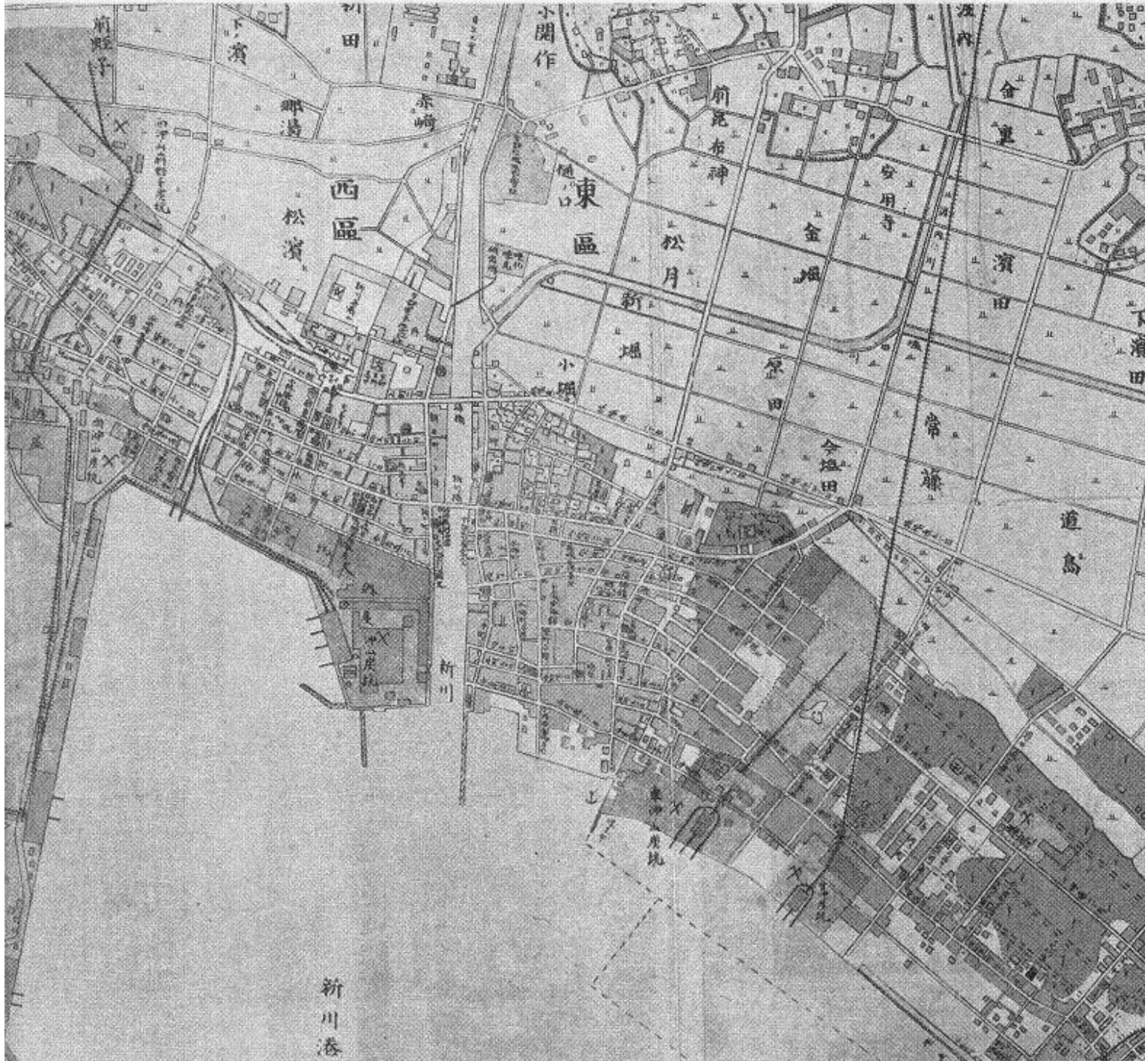




第24号
59. 1. 15

会報
やまぐち

発行所
山口市駅通り2丁目9番15号
山口県土地家屋調査士会
TEL山口225975
発行所
萩市川島3区414
(有)増山印刷
TEL萩21103



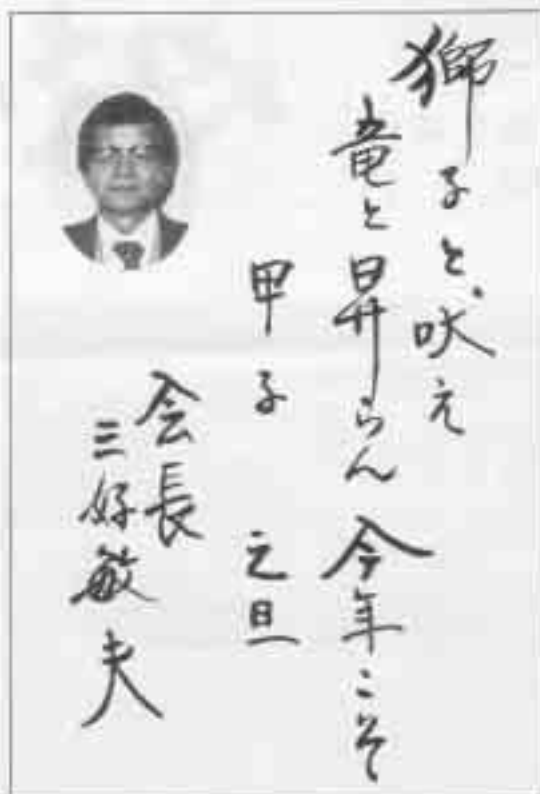
写真は宇部の古地図

山口県土地家屋調査士会



まずもって会員各位の御健勝を祝福致します。今年のコブコブ書跡を積上げるはずみの年であります。子（ホー）は十二支の第一位にあつて事の始めの意味があります。子（コ）はもとから分れて新たに生い立つ意味があります。今年こそは希望を満喫できる年であることを信じます。それは経済が高度成長を遂げ相点に達した時迎えた調整の局面を打開したものの喜びと許さるでしょう。

年頭にあたって



獅子と吠え
竜と昇らん 今年こそ

甲子 乙丑

会長
三好敏夫

今年も新築・増築・施設敷地等、経済の向上と共に事件数は伸びると思えます。

また今年何とかが実現して欲しいことは公職受託法人の立法化であります。表示登記の六、七割を嘱託登記が占めている現況下、登記の正確さを期する為に専門家の方に委託して欲しいという主張を、何とかが実現したいものであります。しかし相手のあることでその相手は官公所でありますから役所側にも予算があり、税態勢がありますので、その中に入り込むには、正確な不動産登記行政の立場から法務局側の御理解と御力を御支援を頂かなければならないことは申すまでもありませんが、専門家が官公所に代って正確な登記申請を行うことの正当化を国民に訴え其咄してもらうことが必要であります。

いま一点は、境界線標示の必要性を国民に知って貰わなければなりません。それには復元可能な地図を法務局に備付けて頂き、境界については何時でも調査士が相談を受け、明解に之を指示し、不明の場合は間に入って専門家の立場で之を解決する、之が調査士の業務であり使命であると痛感致します。法務官僚の中には登記に貼付する印紙は登録免許税か

福



謹賀新年
皆様の益々の御成勝を
祈念し、
昭和五九年元旦

副会長
西山雅敏



謹賀新年
小まことも、良いホノキを
明るく心すこやかな年と
なつて、
副会長
新本清久



賀正
一陽の来復也
甲子春

副会長
前日博司

らはずして不動産登記行政に使用すべきであ
ると言う意見もあります。十七年度地固整備の

財源となる日の早く来ることを
願うものであります。

調査上の地位を確立し、業務
の発展を期する希望がうかがえ
る時、会員の結束と努力が一段
と要求されます。

所感の一編を通じて御挨拶と致
します。



本部主催事務研修会

研究テーマ

「土地家屋調査士の責任と損害賠償・改正区分所有法」など

☆テーマ「過誤測量と調査士の責任」で熟弁される大西隆先生

(経歴：法務局16年間在籍後弁護士開業16年を経て今日に至る。日本土地家屋調査士会嘱託弁護士、東京都土地家屋調査士会顧問弁護士)



研修会風景

昭和五十八年十一月二十七日、山口県商工会館において、本部主催の事務研修会が多数の会員参加のもと、盛況に開催されました。

今回は、日調連嘱託弁護士の大西先生を招き、業歴に身近な諸問題をテーマにした講演を中心に、改正区分所有法に基づく、区分建物表示登記申請の取組み方の説明等で、予定時間も超過する程に、会場は熱気にあふれ有意義な研修会を終えました。

社会保険等加入状況調査報告について

山口会の懸案となっており、また共済制度の育成、補助者の雇用対策の検討資料としてアンケートをお願いしましたが、回答率七〇・ニパーセント、一九八名の報告を得まして内容を整理しました。

昭和五十八年十一月二十二日

総務厚生部会

| ④ 補助者の使用内訳 | |
|------------|--|
| 男 1 名 | <input type="checkbox"/> 16名 |
| 女 1 名 | <input type="checkbox"/> 44名 |
| 男・女 2 名 | <input type="checkbox"/> 20名 |
| 男 2 名 | <input type="checkbox"/> 4名 |
| 女 2 名 | <input type="checkbox"/> 9名 |
| 男2名・女1名 | <input type="checkbox"/> 4名 |
| 男1名・女2名 | <input type="checkbox"/> 7名 |
| 女 3 名 | <input checked="" type="checkbox"/> 1名 |
| 男1名・女3名 | <input checked="" type="checkbox"/> 1名 |
| 男3名・女1名 | <input type="checkbox"/> 2名 |
| 男2名・女2名 | <input type="checkbox"/> 5名 |
| 男 4 名 | <input checked="" type="checkbox"/> 1名 |
| 男1名・女4名 | <input type="checkbox"/> 2名 |
| 男3名・女2名 | <input type="checkbox"/> 3名 |
| 女 5 名 | <input type="checkbox"/> 5名 |
| 男4名・女3名 | <input checked="" type="checkbox"/> 1名 |
| 臨時に雇う | <input type="checkbox"/> 21名 |
| 補助者なし | <input type="checkbox"/> 56名 |

| ⑤ 共済、保険制度希望月掛金額 | |
|-----------------|--|
| 1,000～2,000円 | <input checked="" type="checkbox"/> 1名 |
| 3,000～4,000円 | <input type="checkbox"/> 2名 |
| 5,000円 | <input type="checkbox"/> 5名 |
| 10,000円 | <input type="checkbox"/> 6名 |
| 15,000円 | <input type="checkbox"/> 2名 |
| 希望意見なし | <input type="checkbox"/> 32名 |

| ① 会員の年金加入状況 | |
|-------------|-------------------------------|
| 国民年金 | <input type="checkbox"/> 132名 |
| 厚生年金 | <input type="checkbox"/> 20名 |
| その他の年金 | <input type="checkbox"/> 21名 |
| 加入していない | <input type="checkbox"/> 34名 |

| ② 事業主共済退職金制度 | |
|--------------|-------------------------------|
| 加入している | <input type="checkbox"/> 54名 |
| 加入していない | <input type="checkbox"/> 147名 |

| ③ 補助者の退職金準備 | |
|-------------|-------------------------------|
| 政府系制度加入 | <input type="checkbox"/> 16名 |
| 商工会議所加入 | <input type="checkbox"/> 24名 |
| 事務所内で積立 | <input type="checkbox"/> 9名 |
| 金融関係に加入 | <input type="checkbox"/> 4名 |
| 準備金なし | <input type="checkbox"/> 138名 |

日調連企画

中国・北京六日間の旅に参加して

写真と文 新本清人

過ぐる四〇年前、もう、それは昭和十八年の秋、若人の血を漲らせ、青春時代を一ヶ月間、数々の思い出を残して過した燕京、北京の都、南に前門、北に安定門、東に朝陽門、西に西道門の各城門にて囲まれた広い城壁内に遠く三二〇〇年の昔、周朝の時代から築きたと伝えられる中国の主都、明朝の時代に築かれたと言う天安門、パンダの急の城壁、白大理石の欄干、黄色い琉璃の甍に映える紫念城（現在の故宮博物館）を始め数多くの史蹟を懐かし

く思い出し懐けていた矢先、日調連の企画に早速参加することが出来た。其の悦に入っている次第である。とき昭和五八年十一月一日から六日まで一行は東京班二二名、大阪班二一名、合計四三名、東京班は成田から大阪班は

大阪空港から中国民航機九三二便を利用しての報団旅行である。一四時四五分満席の中国民航機は一路上海に向う。二六時五〇分上海空港着、時差一時間を修正して通関手続に入る。こちらとは体勢の異なる那国柄であるから充分に入国時の持込品等は厳しくチェックされるものと予断していたがやさしい手続と通関に当っての荷物検査等は甚だ寛大であり、若干気負いまけの態である。

一行が中国大陸の今宵一夜を托すホテルは上海空港に程近い龍柏飯店と決り到着てられた部屋六三六号室に旅装を解き休憩の暇もなく夜の上海の街は国立競技場へバスにて向う、車窓より観る街角中国最大の人口一二〇〇万人を擁し、中国経済の中樞を担う国際商工業



▶私達臨場へ急ぐの上

都市文化あり、過去に幾多の荒波にもまれ続けて来たにも拘らずこの街に暗いかげはなく行き交う人の波、工場から職場から仕事を終えて家路に急ぐらしい自転車の群れ各々人々の顔は明るく活気に満ちている。国立競技場に於けるシヨウの話は別の折に委ねたい。明けて二百廿現地時間朝六時に起床し朝食迄に



▶婆さんと孫



▶ワタチ達来た学校へ上つてないの

二時間、四人組の三好夫妻と私、長野会の女子先生のグループは任意で異国の街へ散歩に出かける。若干の肌寒さを感ずるも冷気は快しい。プラタナスの樹路樹の葉はゴッポク散り初めた落葉を踏んで上海動物園前まで約四軒の道を往復する。通動クマシユの自転車からは若者が你早(お早う)の声をかけ合い氣

急しりバブルを踏んで走り去る。グループの一行は不馴れな中国語で町外れの農家住宅を訪問してその生活様式等を見聞する。そしてカメラに色々な様子を収めた。その生活程度は戦後の日本の田舎の生活を想い出し懐かしみと羨しさを覚えた。



登記部門と企画部との協議会議事録

- 一、日時 昭和五十八年九月二十八日(火)
- 二、場所 山口県司調会館会議室
- 三、出席者 (法務局)

石岡首席登記官、寺岡統括登記官

松本表示登記専門官

(調査士会)

三好会長、新本副会長、西山副会長

溝口理事、乗川理事、平山理事、小嶋理事

- 四、閉会 午後一時三十分

- 五、協議事項

- 1、国調図面の精度問題について

具体例：実測と地図との辺長の相違の取扱い方法

(登記部門)

公差の範囲を超えるときは、地方税法第三八一条七項の規定に準じて、市町村を通じて申出ることができる。(昭和四八年一〇月二四日経済企画庁総合開発国土調査課長指示(同五二年五月八日国土第一七〇号国土庁土地局国土調査課長指示)参照)

- 2、地積測量のヒゲ(筆界点)の区確性について

(登記部門)

隣接の筆界点も隣接地番と同様に正確に記載すべきであり、既提出の測量図に記載されている筆界点が明らかに誤りであることが確認できるときは(調査書に、現況が正しく確認されていると認められる具体的記述がなされていると

き)、既提出の測量図の訂正を要せず、新たに提出された測量図により受理することもある。

なお、詳細は、地図訂正の手引(広島法務局刊)大七ページを参照されたい。

- 3、反・畝・歩の平方メートル換算について

例：田を宅地に地目変更する場合、又は分筆する場合、 m^2 以下の数値を利用して意味がないと思うかどうか。(国調成果も m^2 以下は記入されていないところがある)。

(登記部門)

昭和五十四年一月八日民三第三四三号民事局長回答を参照されたい。

- 4、調査士が申請した事件について、土地、建物実地調査要領第十六条を徹底する方策はないか。

(登記部門)

調査書が、当該表示登記事件を審査する上で必要な事項が適確に記述され且つ、添付書類に不足がなければ実調を省略する場合がある。特に調査書中、その他の事項欄を活用して欲しい。

- 5、その他

(イ)各支局、出張所の登記官の書類の取扱い方法の相違について

例：地積更正について印鑑証明書を添付した上に、隣接地主全員の立会の上の実調を行なう。

(登記部門)

事例によっては、実態を把握の必要上実調を行うこともありうる。

(四)土地分筆において、立会証明書が絶対的なものであるようにいわれるがどうか。(公共用地等証明書が間にあわない場合。)

(登記部門)

絶対的な添付書類ではないが、できるだけ添付して欲しい。(確認先の電話番号、係員の氏名などを申述書に記載されたい。)

おめでとうございます

昭和五十八年度土地家屋調査士試験合格者名簿

| 氏名 | 生年月日 | 住所 |
|-------|----------|-------------------|
| 福田幸秀 | 昭32・9・1 | 下関市大字福江一八一三番地一 |
| 山本三喜夫 | 昭24・8・31 | 防府市大字新田九二五番地一 |
| 三万屋康之 | 昭30・7・4 | 佐波郡徳地町大字船路二八三〇番地一 |
| 岩本宏憲 | 昭24・2・6 | 阿武郡須佐町大字須佐四三〇八番地一 |
| 浅村重義 | 昭14・11・9 | 防府市迫戸町七番三三号 |

○改正区分建物発注の為の新しい申請用紙が入荷しております。

○大西先生(四頁参照)の全講義録を作成し三月頃に配布予定です。

(企画部・広報部)

山口地方法務局管区・職員名簿 (昭和58年12月末日現在)

徳山支局

支局長 古谷 嘉昭
 支局長補佐 下瀬 寛
 総務課長 片山 芳人
 統括登記官 宮地 弘文
 登記官 小川 寿光
 事務官 稲村 治徳
 主任 早川 美朝
 登記専門職 西本 紀美子
 ・ 藤井 照夫
 ・ 河村 保
 ・ 山本 房夫
 ・ 村田 光男
 ・ 山本 隆
 供託専門職 西村 昭博
 事務官 森宮 英敏
 事務補佐員 和泉 洋子
 ・ 兼後 恵子

新南陽出張所

所長 波多野 忠
 登記専門職 堀永 馨
 ・ 原田 敏直
 ・ 竹内 基晴

光出張所

所長 海嶋 為夫
 登記官 保坂 一男
 登記専門職 石崎 博子
 ・ 河合 佑一
 事務官 中本 正和

人権相談主任 井上 兼徳

防府出張所

所長 宮内 誠行
 登記官 大井 彌
 ・ 阿座上 弘一
 ・ 松村 實子
 ・ 近藤 芳成
 ・ 小山 稔
 ・ 松永 恵昭
 事務官 岡地 邦子
 事務補佐員 江浪 登志子
 ・ 平野 文子

徳地出張所

所長 石崎 親男

美東出張所

所長 矢田部 悟
 事務官 守永 説夫

美祿出張所

所長 飯田 融
 事務官 井上 達

阿東出張所

所長 木下 恒雄
 登記専門職 有田 知

登記官 林 啓二
 ・ 立花 繁美
 ・ 植杉 初枝
 ・ 井上 操子
 表 示 官 松本 孝
 登記専門官 山縣 龍彦
 登記専門職 西村 和子
 事務官 吉武 文治
 ・ 林 隆康
 ・ 道端 浩生
 事務補佐員 稲村 治徳

戸籍課

課長 垣見 洋佑
 戸籍係長 岩谷 利彦
 国籍係長 藤夫 明
 登記専門職 藤井 靖生
 (併任)
 事務官 金子 邦人

供託課

課長 川崎 卓朗
 供託係長 藤井 欽也
 供託専門職 河村 雅子

訟務課

課長 溝下 正喜
 訟務専門官 藤井 孝
 ・ 品川 寿興
 登記専門職 石田 憲一
 (併任)

人権擁護課

課長 有元 孝
 人権相談係長 佐伯 誠人

山口地方法務局

局長 長谷野 和之

総務課

課長 滝本 備男
 課長補佐 堀江 安行
 庶務課長 武下 満
 人事係長 中野 久雄
 登記専門職 釜谷 和代
 (併任)
 事務官 松原 純生
 ・ 有吉 清
 ・ 吉村 智恵子
 ・ 岡崎 祥子
 技官 三津田 義典

会計課

課長 清水 龍三
 主計係長 広中 章人
 用度係長 旁政 忠文
 営繕主任 山崎 一男
 登記専門職 野村 幸子
 (併任)
 事務官 永田 一義
 ・ 松下 衛
 ・ 佐伯 正博
 技官 阿武 美代子
 事務官 富田 礼子

登記部門

首席登記官 石岡 研二
 統括登記官 大野 英雄
 ・ 寺岡 保

宇部支局

支局長 石出正幸
 支局長補佐 下井義夫
 総務係長 中野好彦
 統括登記官 阿川真悟
 登記官 松坂義人
 * 小林叶
 登記専門職 藤井和博
 * 安宗厚子
 * 安田謙
 * 藤田英夫
 * 高井静子
 * 高杉伸夫
 事務官 浅原勉
 * 中村和彦
 * 岡本隆
 登記専門職 山本智之
 事務官 山田謙治郎
 事務補助員 田中知子

山陽出張所

所長 森脇一整
 登記専門職 小野孫所

小野田出張所

所長 竹島逸夫
 登記専門職 河村礼子
 * 樽敦夫

下関支局

支局長 堂前正紀

総務課

課長 松村貞昭
 総務係長 水津憲昭
 供託専門職 兼安典子
 * 岩本一右
 事務官 田中哲治

登記部門

統括登記官 粟屋茂信
 登記官 大崎正朗
 * 山崎力
 * 松宮国男
 * 中原玄迪
 登記専門職 中川綾子
 * 中川洋二
 * 藤川京子
 * 三隅信行
 * 田中昭
 * 国澤富三郎
 事務官 久富豊康
 * 藤井茂
 * 津森正義
 * 西山義治
 * 藤木修
 事務補助員 服部八千代
 * 堂原民男

豊北出張所

所長 山崎浩正
 登記専門職 滝村剛

豊日出張所

所長 竹内忠夫
 事務官 藤山政志

岩国支局

支局長 真鍋茂徳

支局長補佐 松田昭義
 総務係長 末広村夫
 登記官 木村悟
 * 中川進子
 主任 和太徳
 主登記専門職 杉村靖雄
 登記専門職 * 有能和郁
 事務官 富永勝盛
 * 小野村悟
 * 重田勉
 * 町田圭司
 * 小山喬
 事務補助員 若林洋子
 * 岩本康子

周東出張所

所長 尾崎昭夫
 登記専門職 岡進子
 事務官 林敬夫

錦出張所

所長 前田和美

柳井出張所

所長 金子昭典
 登記官 伊藤久行
 登記専門職 天河正雄
 事務官 武吉熱
 * 原澤源一
 * 石杉恵子

久賀出張所

所長 新江正信
 事務官 藤井隆弘
 * 岡田勝美

萩支局

支局長 小川 聡

総務係長 浜田孝
 登記官 五木万壽
 * 中野三男
 供託専門職 森脇秀仁
 登記専門職 藤永幸成
 * 岡藤康通
 事務官 宇野秀穂
 * 石井るり子
 * 原田邦夫
 事務補助員 植木まゆみ
 * 米島幸子

須佐出張所

所長 長弘毅
 事務官 池永真

長門出張所

所長 重田進
 登記専門職 斉藤俊英
 * 横山好信
 事務官 木村孝

司調親睦ソフトボール大会

萩支部三連覇成る!!

準優勝・岩国B、第三位・宇部B

昭和五十八年度の司調親睦ソフトボール大会は、十月十六日下関市長府、市民第一運動広場において、県下十二チームが参加して行われました。

今大会は、進退している萩支部チームの連覇阻止が注目されましたが、小兵ながら巧みな試合運びをする萩支部チームは二連覇(四回目の優勝)の栄冠となりました。

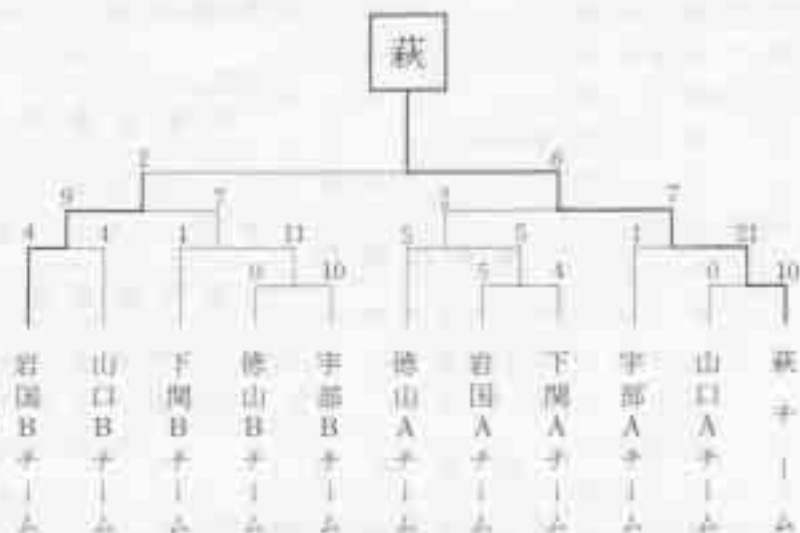
試合は同点による抽せん試合が二試合あるなど、年々の大会で各チーム共実力差は平均して、白熱した試合が多くなりました。

又、女性選手の活躍も随所に見られ、選手宣誓をした萩支部チームの大谷世代選手(四二歳)は、全試合出場、打率四割強の成績をあげ、優勝に大きく貢献しました。

幸い天気に恵まれ、フェアリーなゲームのおかげで、事故もなく、各々楽しく観戦の意を尽しあい大会を終えました。

尚、本大会に地元引受となった下関支部の皆さんには、大変な御苦労をおかけした事と

思います。おかげを以て立派な大会ができました事を心からお礼申し上げます。



熱戦風骨

三位決定戦



史都探訪レクリエーションシリーズ

史都山口市を探究する!!

瑠璃光寺・サビエル聖堂など九ヶ所を巡る



去る十一月三日、会員、会員家族等の三十余名が集い、山口市の名所巡りに楽しい一日を過ごしました。

史跡・名所の解説は、専属のバスガイドの他に、山口市歴史民俗資料館長の内田伸先生が解説され、ユーモアたっぷり、わかりやすい御説明に、一同快よい気持ちで名所巡りが出来ました。又、好天にも恵まれ、常栄寺(雪州庭)では、御茶会などの団体や、多くの観光客で、こみあいの一幕もありました。

(巡回したコース)

山口衛星通信所(ラザロ館)——常栄寺(雪州庭)——八坂神社——龍福寺——瑠璃光寺(五重の塔)——香山園——洞春寺——山口大神宮——サビエル聖堂

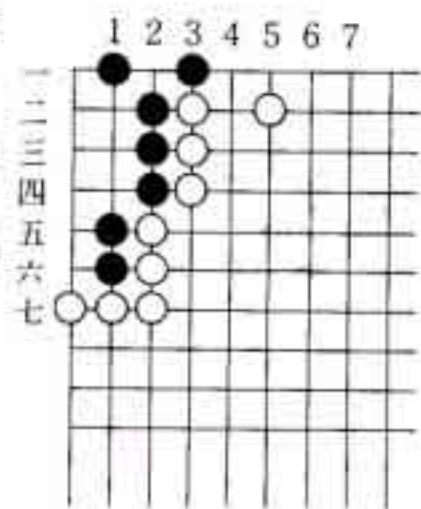
写真上・瑠璃光寺(五重の塔前)にて記念撮影
写真下・常栄寺(雪州庭をみる会員達)



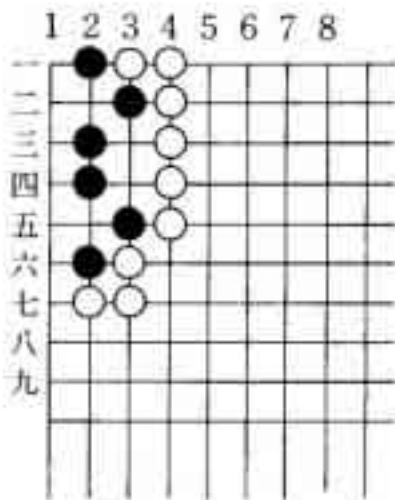
ちょっとひといき

問題 (A)

詰碁二題



問題 (B)



問題 (C)

詰将棋一題



(持駒) 角

【解答下さい】(薄謝進呈)

各問題共、正解者の中から抽せんで三名様に薄謝進呈します。

〆切 二月末日

宛先 山口県土地家屋調査士会事務局

次の言葉を正しく解釈して下さい。(分らなかった人は辞典をひき町の法律家として一歩前進しましょう。)

- ① 心理留保
- ② 公信の原則
- ③ 交叉申込
- ④ 第三債務者
- ⑤ 分別の利益
- ⑥ 物上請求権
- ⑦ 無主物先占 (民法典より)

前回の正解者 (全問正解者のみ掲載)

萩支部 三好敏夫
徳山支部 兼重直彦

宇部支部研修だより

復元をテーマに一泊二日の技術研修を左記の通り実施した。

○日程

12月12日(土)

13時 / 技術研修

17時 / 自由時間

18時 / フリートレーニング

12月13日(日)

9時 / 技術研修

15時 / 講評・表彰

15時30分 / 閉会

○方法 四班編成による復元競技

○主催者

1 所要時間・正確度の向上

2 調査士のモラルの確立

○場所

宇部市上宇部黒岩2等二角点

(標高570m・早野生年念休館センター)

○参加者(含補助員)

支部長以下21名

概要

昨年小野田市江沙では雨のため旗をのんだので、今年は企画委員がモデルになったスライド34軸も用意して当日を待った。本番の日の夜は小雨まじりの嵐で心配もあったが、幸い日中は晴の様に穏やかな朝景日和であったので、予定通り常陸朝北側休館センターの裏山三角点の周辺で、実施することができた。

第一日

まず持合場で実施要領の指示説明を受けた各班(A、B、C、D)それぞれ器材を山頂の二角点に持ち上げ、各班異なったルートより調査点No1・No2を任意の多角点をとって測量し、測量法は持合場にかより持参の計算機で出すのであるが、さすがみんなベテランである。いつの間にか、ややこしい計算を終えて、サープロと議論と余韻を見せていた。

そこで場所をかえ夕食後の懇話となり、あれこれ話に花が咲く。

第二日

朝日に使った任意の多角点と最終測量点No1・No2は勘定なく旗をかんに引抜かれていて解からないようにしてある。その調査点No1・No2の直線上の指定された中間点を現地に出す



優勝のCチーム

競技である。

この敷地を復元測量を、生観中にそれぞれサープロワークよりしく積み、観望位置、やがて企画委員の厳正な判定を受けたのである。固みに一位になったC班は、No1からの距離にピッタリくる位もなく、奇跡とばかり拍手をあげていた。

かくして各班投票点を締めながらも、お互い勇らぬ出来ばよにはかつとした気持ちで器具を担いで山を降りた。



競技風景

午後は控会場で光波測量やワイプロ研修で磨きを加え、午後三時より講評に移り最後に一位優勝チームに永久支部長からの表彰あり、全日程を終えた。

ふりかえって準備も良かった。気合もかかっていた。加えて天候が味方してくれ、自由自費で言葉、仲々の首尾であったし、併せてこれから「博でやろう」、「スライドを活用しよう」と前向きの言葉がそこはか湧いて来る。又その際には企画担当のご苦労のあったことを記してこの項を終る。

（広報担当「河村正彦」）

新春言いたい放題

所信表明、要望、一人言、ぼやき、目標など

去る一月七日行われた合同理事会、支部長会終了後の数談の中から参加者の新春初声を収録しました。

★二好会長

- ・公共福祉の受注を伸ばそう。役員は役所にお百度参りする気持ちで頑張ろう。
 - ・境界事件は調査士が解決する心構えで
- ★新本副会長
- ・区分建物敷地権の解釈、合併条件の一部解除等法改正の周知徹底を
- ★西山副会長
- ・補助者制度の改革や公共福祉委託団の法人化等日調の新しい動きに注目したい。
- ★前田副会長
- ・本年度の業界景気は、曇時々晴位いか？お互い協力しましょう。

★中原相談役

- ・支部長会の活躍に大きな期待をしたい。支部長会カンパレ
- ★垂川公共事業部長
- ・業界の生きる道は未開発部分の開発が主である。皆さんの期待に応えられる公共

事業部になりたい。

★高杉経理部長

- ・公福について本年度は柳井地区が模範になる意気込みで受託をすすめたい。

★小林理事（経理部）

- ・今回引受を担当して皆さんのさわやかな協力を心から感謝する。お互いこの気持ちで今年も頑張ります。

★高野宇部支部長代理

- ・支部研修会の出席率を伸ばしたい。二支部合同の研修会を行いたい。
- ★平山理事（企画、公共事業部）
- ・協調と忍耐、おしん（テレビドラマの主役）の精神で行こう。

★小嶋理事（企画、公共事業部）

- ・地価による報酬を研究してみようか。
- ★高村事務局長
- ・建物区分所有の申請用紙が少量ですが届きました。必要な方は請求あれば配布致します。

★無敵理事（広報部）

- ・二、三年前、ボスター、レンタル等配布されておりますが、皆さん机の中に眠っているのではないか。車輦、事務所等に貼って調査士の宣伝をしよう。
- ・区分整理、土地改良が今後出た時は、法

務局にも辺長の入った換地確定図を提出させ、会員が閲覧出来るように法務局に働きかけては……

★田中徳山支部長代理（随行）

・中原相談役からお酒の注ぎ方・飲み方の指導を受け、良い勉強をした。

★藤井徳山支部長

・支部研修会の出席率を上げたい。（出席しなければ損をすると思われる内容を考えたい。）

★福原山口支部長

・不良債権の取立案として支払命令等の方法もあるが、一回の代金が受領出来なかつたら次を断る方が良くと考える。被害を最少にする事が良策と思うが、

★比良岩国支部長

・支部研修会の出席率を45%位まで伸ばしたい。

★岡山理事（総務・厚生部）

・若い会員が、事件誘致に訪問依頼している話がある。どう解決するか。（会長、戸別訪問は事件誘致であり会則違反だ。広告は会として出すのは良いが、新入会員は一回程度なら良いのではないかと思う）

★石田理事（総務・厚生部）

・総会や研修会等、今まで出席の悪い会員

（常連）が居るが、こういう人をどのようにして出席させるか考えたい。

・法務局登記官に取り扱い方が違うケースがあるので、協議申出をしたい。

・今年は麻雀を習いたい。

★細野厚生部長

・司調親睦ソフトボール大会の運営については、司調間に多少考え方の違いがあるので、よく協議し、すっきりした形にしたい。

★兼清総務部長

・昨年度まで企画を担当していたが、予算の使い方が下手なので総務に回された事だと思っている。汚名挽回する。

★溝口企画部長

・本部研修では、改正区分所有法の説明に時間が不足した為、御迷惑をおかけしました。近く資料を作成し、全会員に配布したいと思えます。

・支部研修会は、日程、その他研修事項を事前に連絡して欲しい。

・報酬額の運用の中で、杭打費は県下統一価格を考えたい。

・建物表示で未完成なのに、申請が出されると法務局からの申出がある。建物の完成引渡し時期と、建物の表示登記申請で

きる時期との関係について研修会を考えたい。

・不良債権回収法について、支部長会共相談して研修議題としたい。

★竹内広報部長

・本日の参会者に種々アンケートをした結果（抜粋）最多解答のみ

①今年の初詣は何社？ 一社 50%

②年賀状の宛名書は？ ポールペン 55%

③今年の調査士会の天気予報 曇時々晴

④今年貴方の受託事件数は？ 伸び悩む 45%

⑤土地家屋調査士を改称すれば？ 60%

土地建物調査士 40%

★磯部支部長会議長

・昨年末、毒舌家というニックネームを頂戴したが、元来ここに列席の本部役員が支部長・副支部長で、私が本部理事をしていた当時、随分と突き上げを喰い批判を受け、針の筵に座らされたものである。それが今日の強い私を作り、毒舌家と称される所以であるが、自分では、今はそれが又実り、優等生と自負している。

これからは三好体制を支え、顕著な存在で業界の為に尽したい。

山口やまぐち

調査士会にお知らせがありました

昭和五十八年十月一日

山口県土木建築部長

都市計画法施行細則の一部改正について(通知)
このことについて、別添のとおり改正したので通知します。

なお、貴会員への周知方よろしくお願ひします。

都市計画法施行細則の一部を改正する規則(通知)
都市計画法施行細則(昭和四十五年山口県規則第六十八号)の一部を次のように改正する。

第二条の二中「別表」を「別表第二」に改め、同条を第二条の次に次の一条を加える。

(政令第三十一条ただし書の知事が定める開発区域の面積)
第二条の二 政令第三十一条ただし書の規定に基づき、別表第一に掲げる区域内において行う開発行為で法第四

条第十項の建築物又は同条第十一項の第一種特定工
作物の建築又は建設の用に供する目的で行うものに係
る知事が定める開発区域の面積は、五ヘクタールとする。
別表中「第二条の二関係」を「第二条の三関係」に改
め、同表を別表第二とし、同表の前に次の一表を加える。
別表第一(第二条の二関係)

| | |
|---|--------------------------|
| 下関市 徳山市 防府市 下松市 岩国市 光市 新南陽市 玖珂郡和木町 | 都市計画区域のうち、 市街化調整区域の全域 |
|---|--------------------------|

附則

この規則は、昭和五十八年十月十一日から施行する。

昭和五十八年十二月二十七日

山口地方務局長

- 一、 旧土地台帳付属地図のマイラー再製作業に伴う
公園の閲覧等について(依頼)
- 二、 貸出期間中における公園の閲覧は、市町村付けの公
園を利用する。
- 三、 公園の調査を伴う登記申請については、登記申請に
必要な資料として市町村備付けの公園の写を添付する。

| 庁名 | 地番区域 | 貸出回数 | 貸出期間 |
|-------------|-----------|------|----------|
| 山口地方 法務局 | 山口市大字仁保千郷 | 一五七 | 自五九・一・二〇 |
| | 仁保中郷 | 二九六 | 自五九・一・二〇 |
| 山口地方 法務局 | 七小郷 | 二九二 | 至・三・二〇 |
| | 計 | 九四六 | |
| 山口地方 法務局 | 山口市大字石原 | 一一一 | 自五八・一・二六 |
| | 田倉 | 一八 | 自五九・一・二〇 |
| 山口地方 法務局 | 植田 | 七一 | 至五九・一・二〇 |
| | 計 | 一〇八 | |
| 宇部支局 | 宇部市大字川上 | 七三 | 自五八・一・二六 |
| | 小野 | 二四一 | 至五九・一・二〇 |
| 宇部支局 | 計 | 四一四 | |
| | 瀬東町大字榎余地 | 二五 | 自五九・一・二〇 |
| 瀬東町大字榎余地 | 錦町大字宇佐 | 〇 | 自五九・一・二〇 |
| | 宇佐郷 | 九 | |
| 瀬東町大字榎余地 | 大原 | 一七 | 自五九・一・二〇 |
| | 須川 | 八 | 自五九・一・二〇 |
| 瀬東町大字榎余地 | 深川 | 一〇 | 至・三・二〇 |
| | 中ノ瀬 | 四 | |
| 瀬東町大字榎余地 | 大野 | 三 | |
| | 府ノ谷 | 三 | |
| 瀬東町大字榎余地 | 計 | 一三 | |
| | 瀬東町大字上田部 | 一〇一 | 自五九・一・二〇 |
| 瀬東町大字榎余地 | 計 | 一六七 | |

注 詳細については実施庁にお問い合わせ下さい。

開業五年未満の会員へ

新入会員研修会には

是非一度

御参加下さい！

平均年齢の比較的高い我が土地家屋調査士業では、経験を主体とした、名人芸だけで仕事をしている先生がいられる。長い間の経験から共通した事項については一種の統計的な判断を持っており、それを無意識のうちの一つのパターン（模範型）として仕事をしているから、立派に対応をすることができるとは、す。

しかし、ベテランの名を得るためには、最低十五年あるいは、それ以上の長い歳月を要するのではないだろうか。ここ最近有資格者となって開業された会員も、前述の古老の勘による対応に対し、科学的に種々のパターンを研究し、正しい判断を下しながら業務を遂行すれば、短時間で古老の域に達する事と思います。毎年行われる新入会員研修会では、実践に伴う種々の大切な手解きを教えてください。是非御参加下さい。

目次

・年頭にあたって

会 長 三好 敏夫……………(2)

・本部主催事務研修会開かれる……………(4)

・厚生部だより

社会保険等加入状況

調査報告について……………(5)

・日調連企画

中国・北京六日間の旅に参加して

写真と文・新本 清人……………(6)

・登記部門と企画部との協議会議事録……………(8)

・おめでとうございます

昭和五十八年度土地家屋調査士

試験合格者発表……………(9)

・山口地方法務局管区・職員名簿……………(10)

・司調親睦ソフトボール大会

萩支部三連覇成る!!……………(12)

・ちよつとひといき……………(14)

・宇部支部研修だより……………(16)

・調査士会にお知らせがありました……………(19)

・計報・お知らせ・会員異動状況……………(20)

・表紙説明・編集後記……………(22)

★表紙写真説明 宇部市街古地図

大正十年市制実施記念に作成された地図である。当時の宇部市は、文献によれば人口四〇、九三六八人（男二一、五七四八人、女一九、三九二〇人）戸数九、二七四戸、宇部新川駅の乗降者数四一三、〇〇〇人（大正九年）とある。尚、宇部八景は、常盤津の秋月、厚東暮雪、沖田の落雁、松江の晚鐘、樋口の夕照、湯田の夜雨、緑浜の帰帆、琴崎松風、宇部の古蹟は、厚東城跡、御蔵立場、上人塚、稲塚、堀川、とある。

編集後記

(流行歌)

星の流れに

時の流れに身をまかせれば 不況の波が
身をつつむ 出世したいし金は欲しい
パーとパチンコに 夜は更ける
こんな男に 誰がした

もう二十年も前から、こんな替え歌が流行って、それが今の世に通じているようだ。

石を投げれば自動販売機にあたり、角を曲ればスナックで、耳をすませばパチンコの音、最近はこの上にサラ金が増え、何となく、さあ遊べ、さあ遊べと追われている感じがしてならない。我が業界もこの所、受託事件数の目減りが気になり出して、会員の気持も多少動揺している動きが見られる。

競争率三%、東京大学よりも高い競争率で勝ち得たこの職業で、自分を生かすことこそが大切と考える。